

日本再生の基本戦略

～危機の克服とフロンティアへの挑戦～

日本を 取り巻く 現状認識

日本は、今未曾有の人口減少社会を目前に控え、「2つの危機」の真っ只中に位置している

- 「そこにある危機」：構造転換が遅れ、失われた20年
- 「危機の中の危機」：東日本大震災・原発事故・円高等

基本的な 考え方

危機の克服を図り、「フロンティア」への挑戦に臨む

- 東日本大震災や原発事故等を受けて、東日本の復興を支え、震災前から直面した課題に対応するため、本戦略を取りまとめた
 - 被災地においては、「新成長戦略」の施策を先進的に実施することで、被災地の復興を日本再生の先駆例としていく
- 「新成長戦略」は加速・断行をした上で、経済連携やイノベーションを推進し、グローバル化のもたらす便益を追求し経済成長に繋げる
- グローバル化と向き合いつつ、分厚い中間層を復活し、持続可能で活力ある地域社会を構築する
- インクルーシブな成長、人間の安全保障など、人の温もり・地域の温かさを大切にする取組を内外に展開する

日本再生の基本戦略

～危機の克服とフロンティアへの挑戦～

【現状の危機】

人口減少

高齢化

産業構造への
転換の遅れ

90年代半ば
からのデフレ

東日本
大震災

原発事故

円高

世界的な金融
市場の動揺

【取組み内容】

1. 震災・原発事故からの復活

東日本大震災からの復興
復旧から復興へ

エネルギー・環境政策の
再設計
新たなエネルギーの可能性

2. 経済成長と財政健全化の両立

経済の成長
政策努力目標（11～20年度平均）
名目成長率3%程度
実質成長率2%程度

財政健全化
社会保障・税一体改革

3. 3つのフロンティア 新成長戦略の実行・強化

経済の
フロンティア
更なる成長力強化の
ための取組

社会の
フロンティア
分厚い中間層の復活

国際の
フロンティア
日本のプレゼンス強化

4. 新たなフロンティアへの挑戦

グローバル

地域社会

中長期的な方向性を検討

フロンティア分科会

【目指す姿】

【希望と誇りある日本へ】

経済成長

参加しお互い
支えあう社会

国際貢献

日本再生の基本戦略

～参考:特色①～

○基本戦略では、新成長戦略の被災地での先取りによる震災・原発からの復活に加え、経済・社会・国際の3つのフロンティアと新たなフロンティアとして中長期的方向性の検討を提示

被災地の復興を日本再生の先駆例にする取組等

経済のフロンティア

- ・ 経済連携の推進や世界の成長力の取り込み
- ・ イノベーションによる新産業・新市場の創出
- ・ 新たな資金循環による金融資本市場の活性化 等

社会のフロンティア

- ・ 雇用を基軸とした社会・生活基盤の構築
- ・ 産官学の連携した人材の育成
- ・ 持続可能で活力ある国土・地域の形成

国際のフロンティア

- ・ 「内向き志向」から脱却し、国際貢献を推進
- ・ 「人間の安全保障」の実現
- ・ 世界の人々が持つ日本のイメージの向上

新たなフロンティア

中長期的に目指すべき
方向性の検討を深める

「フロンティア分科会」
で検討

日本再生の基本戦略

～参考:特色②～

○特に、基本戦略の3つのフロンティアでは、基本的考え方に加え、新たな取組の強化や新成長戦略での取組の再設計に関するものとして、当面の重点施策を明示。

【重点施策の例】

○ 経済のフロンティア（更なる成長力強化のための取組）

〔産業〕



〔経済連携の推進や世界の成長力の取り込み〕

- ◆パッケージ型インフラ海外展開の拡充
- ◆中小企業の海外展開支援等

〔イノベーションによる新産業・新市場の創出〕

- ◆少子高齢化、エネルギー環境制約等の課題克服による市場拡大
- ◆中小企業の潜在力・経営力の強化

〔新たな資金循環による金融資本市場の活性化〕

- ◆官民連携による成長マネーの供給
- ◆「成長ファイナンス関係閣僚会議（仮称）」の設置

○ 社会のフロンティア（分厚い中間層の復活）

〔人・地域〕



〔雇用を基軸とした社会・生活基盤の構築〕

- ◆「若者雇用戦略（仮称）」の策定
- ◆非正規労働者の雇用の安定と公正な処遇に向けた新たなルールづくり

〔産学官の連携した人材の育成〕

- ◆グローバル人材の育成
- ◆産学官が連携した職業教育や職業訓練の強化

〔持続可能で活力ある国土・地域の形成〕

- ◆「環境未来都市」構想の推進
- ◆都市・農山漁村の交流促進、地域資源の活用等を通じた地域力の向上

○ 国際的フロンティア（世界における日本のプレゼンス（存在感）の強化）

〔国際〕



〔「内向き志向」から脱却し国際貢献を推進〕

- ◆途上国の強靱なインフラの整備
- ◆グリーン経済への移行における貢献（「課題先進国日本」としての貢献）

〔「人間の安全保障」の実現〕

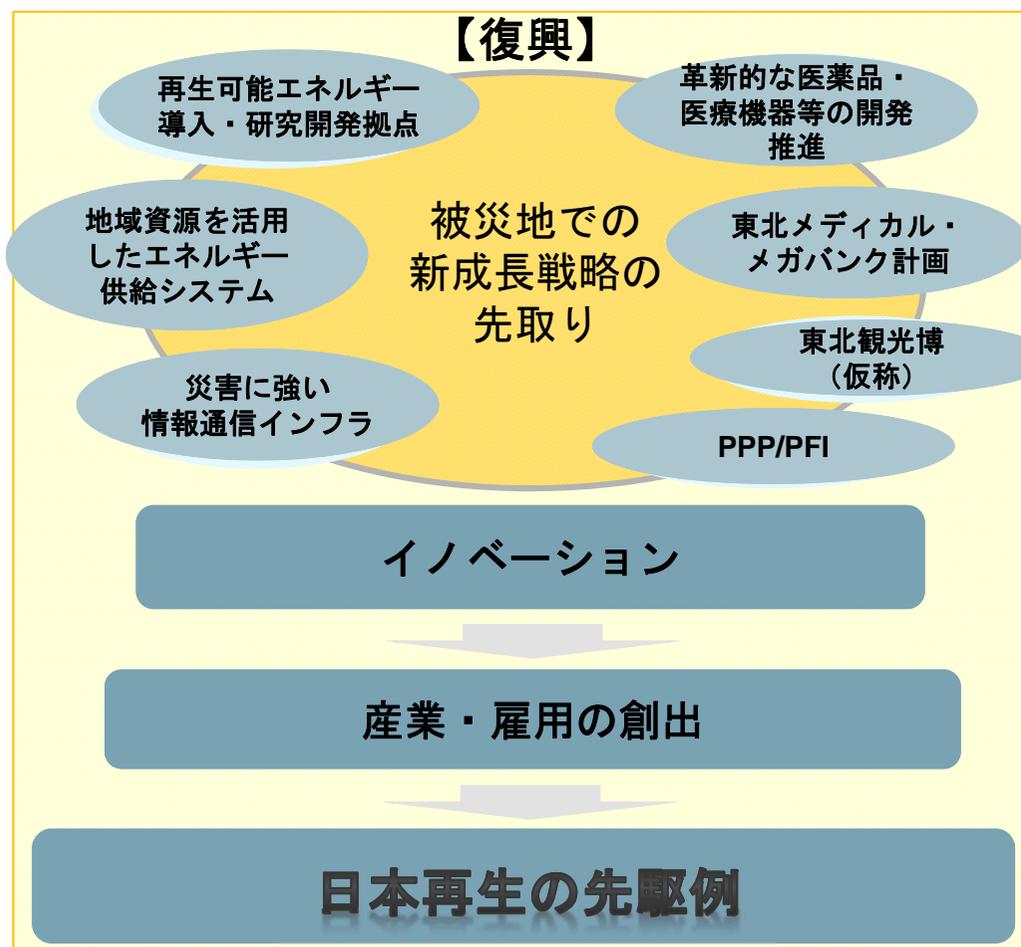
- ◆途上国等の経済を支える人材の育成
- ◆保健・医療・衛生の改善

〔世界の人々が持つ日本のイメージの向上〕

- ◆日本食文化の無形文化遺産への登録
- ◆日本ブランドの再構築

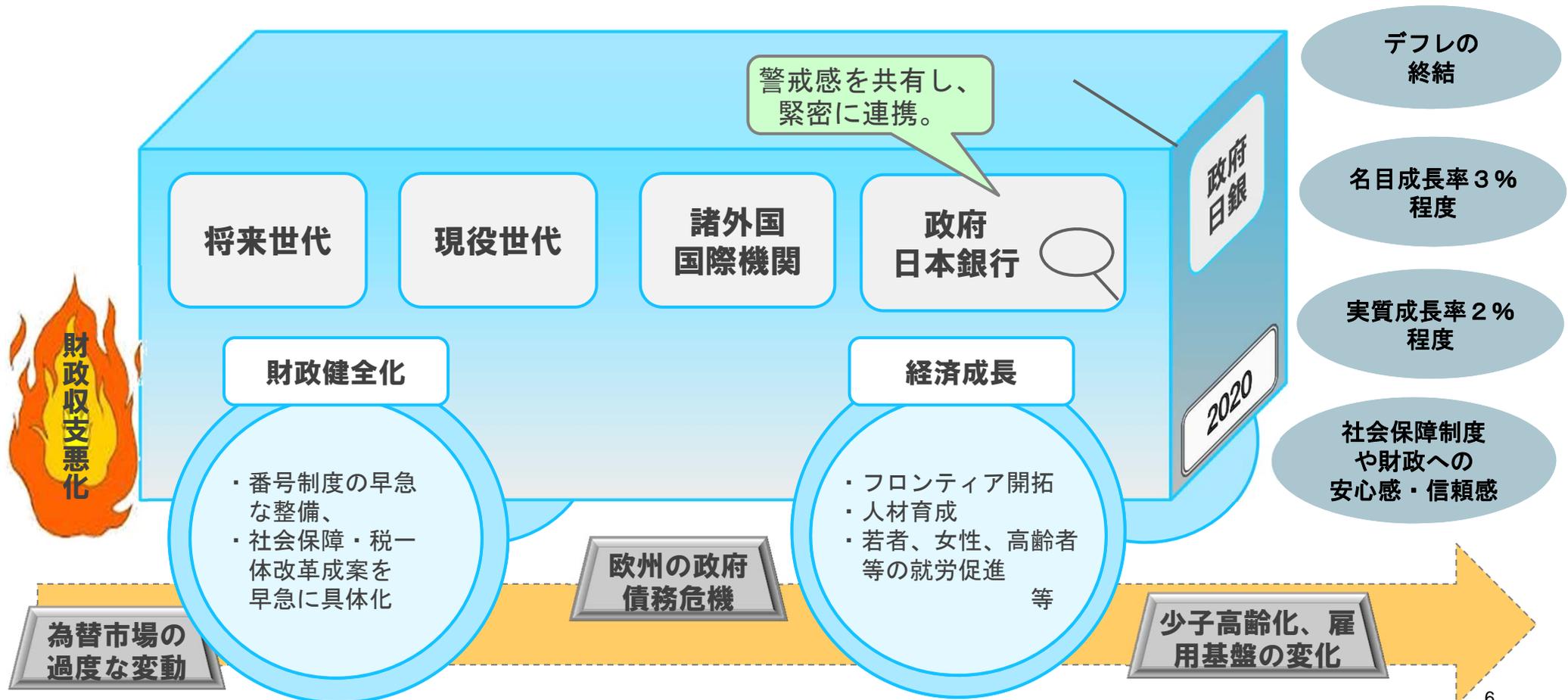
1. 震災・原発事故からの復活

被災地の復興を日本再生の先駆例として、新成長戦略を先取り実施。原発への依存度を下げていく中で、エネルギーフロンティアを開拓するとともに、温暖化対策の基本方針を策定。



2. 経済成長と財政健全化の両立

名目成長率3%程度、実質成長率2%程度を目指す。
社会保障の安定財源確保と財政健全化の同時達成のため、
社会保障・税一体改革成案を早急に具体化。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

更なる成長力強化のための取組：経済連携の推進と世界の成長力の取り込み

幅広い国々との経済連携を戦略的かつ多角的に推進。
国内の事業環境の整備と、アジアを中心とした世界でのビジネス展開の拡大。
成長の果実を国内に還流させ、我が国のアジア拠点化を実現。

経済連携推進

- ◆ EPA/FTAの推進
- ◆ 投資協定、租税条約、社会保障協定
- ◆ 「偽造品の取引防止に関する協定」の早期発効等

国内環境整備

- ◆ 立地補助金の活用等による競争力強化
- ◆ 中小企業の海外展開支援等
- ◆ グローバル化等を踏まえた民法改正

成長果実の還流・アジア拠点化

- ◆ 国際戦略総合特区の活用
- ◆ アジア拠点化の推進
- ◆ ポイント制の早期実施
- ◆ 看護師・介護福祉士候補者受入れ

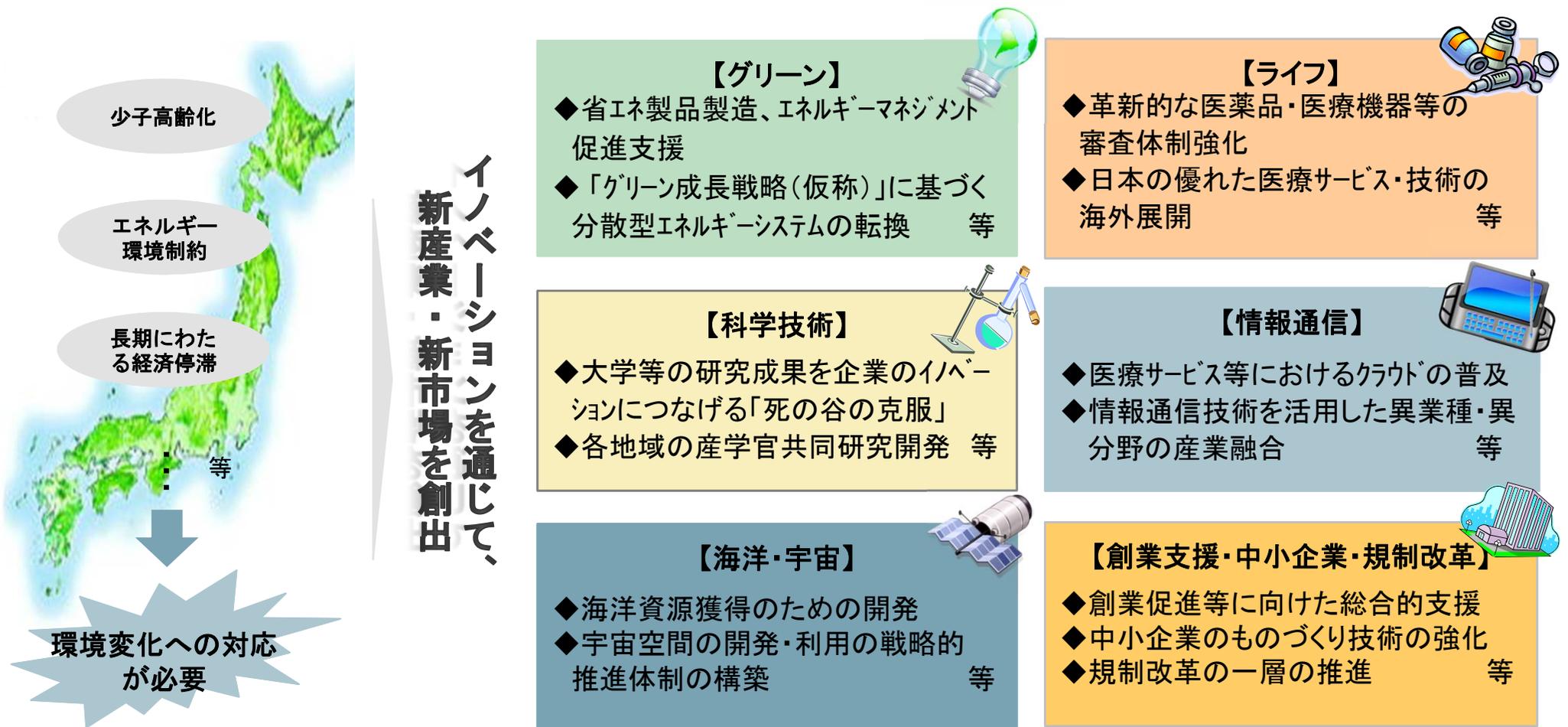
世界でのビジネス展開拡大

- ◆ 円高メリットの活用による海外M&Aの促進、資源確保等
- ◆ パッケージ型インフラ海外展開の拡充
- ◆ クールジャパンの推進

3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

更なる成長力強化のための取組：環境の変化に対応した新産業・新市場の創出

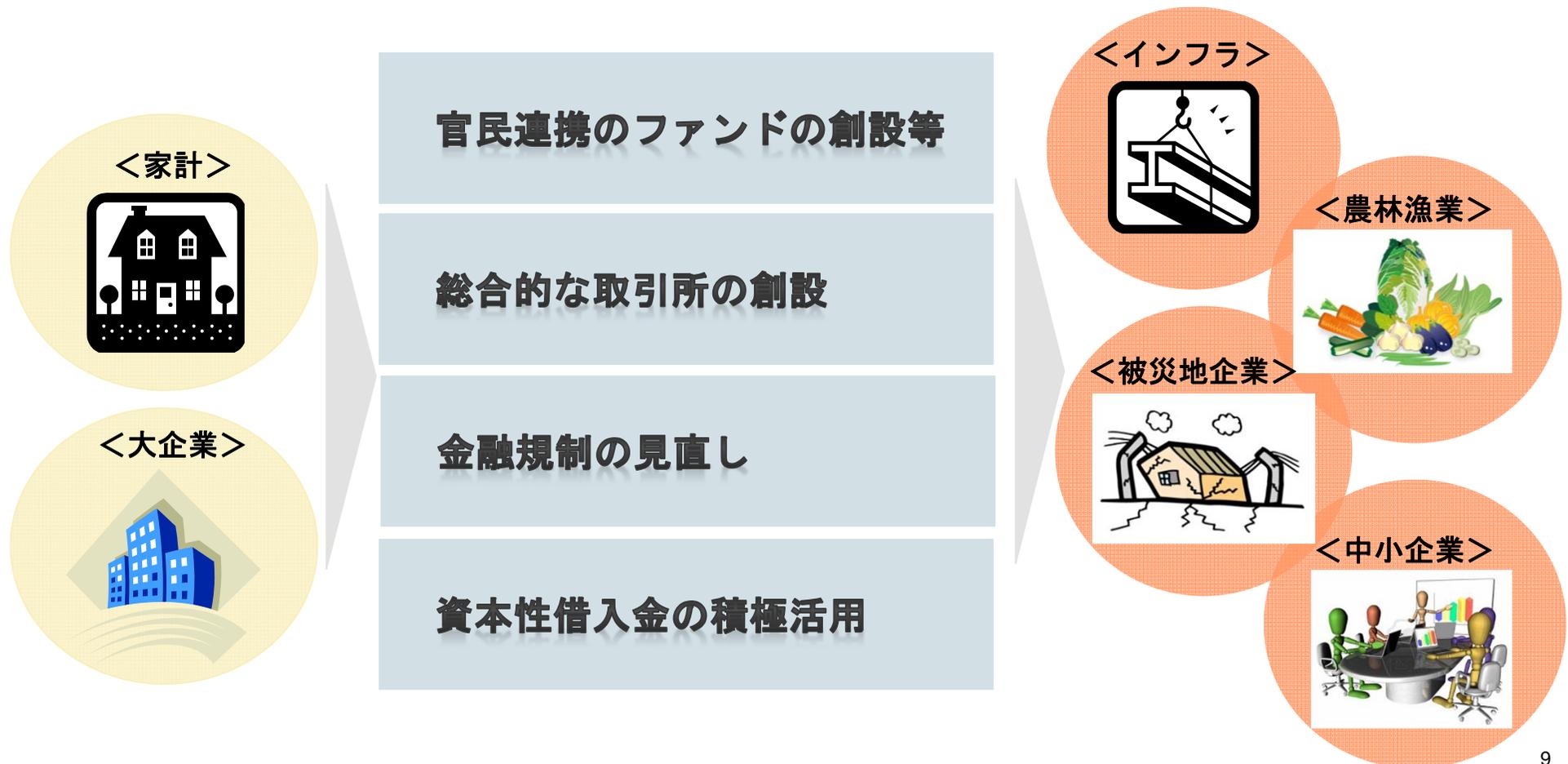
我が国が強みを有するものづくり分野等で、イノベーションを起こす。
成長分野を中心としたイノベーションを通じて、新産業・新市場を創出。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

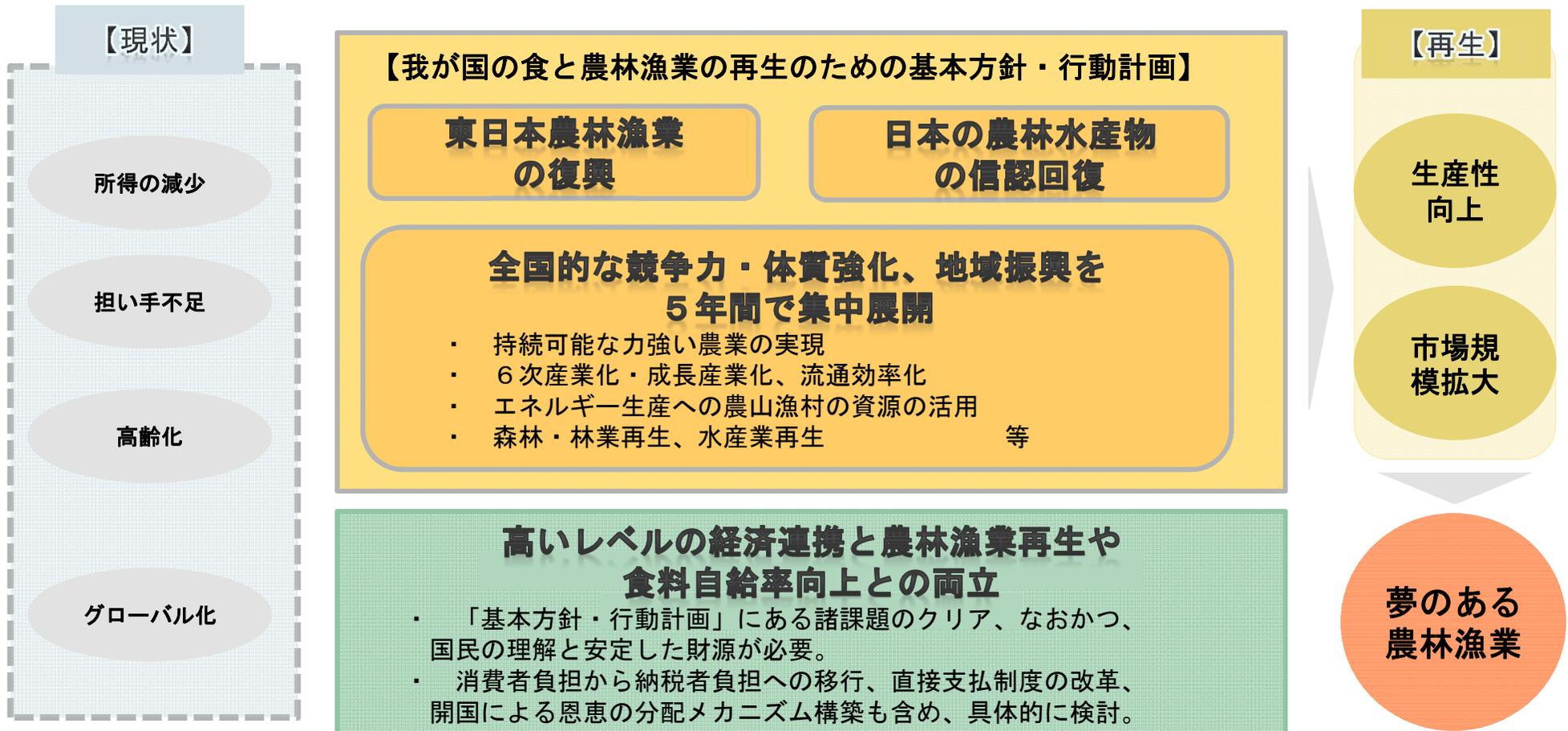
更なる成長力強化のための取組: 新たな資金循環による金融資本市場の活性化

金融機関・市場の強化を通じて、インフラ整備や、農林漁業、被災地企業、中小企業等、資金不足主体への成長マネーの供給を拡大。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計 更なる成長力強化のための取組：食と農林漁業の再生

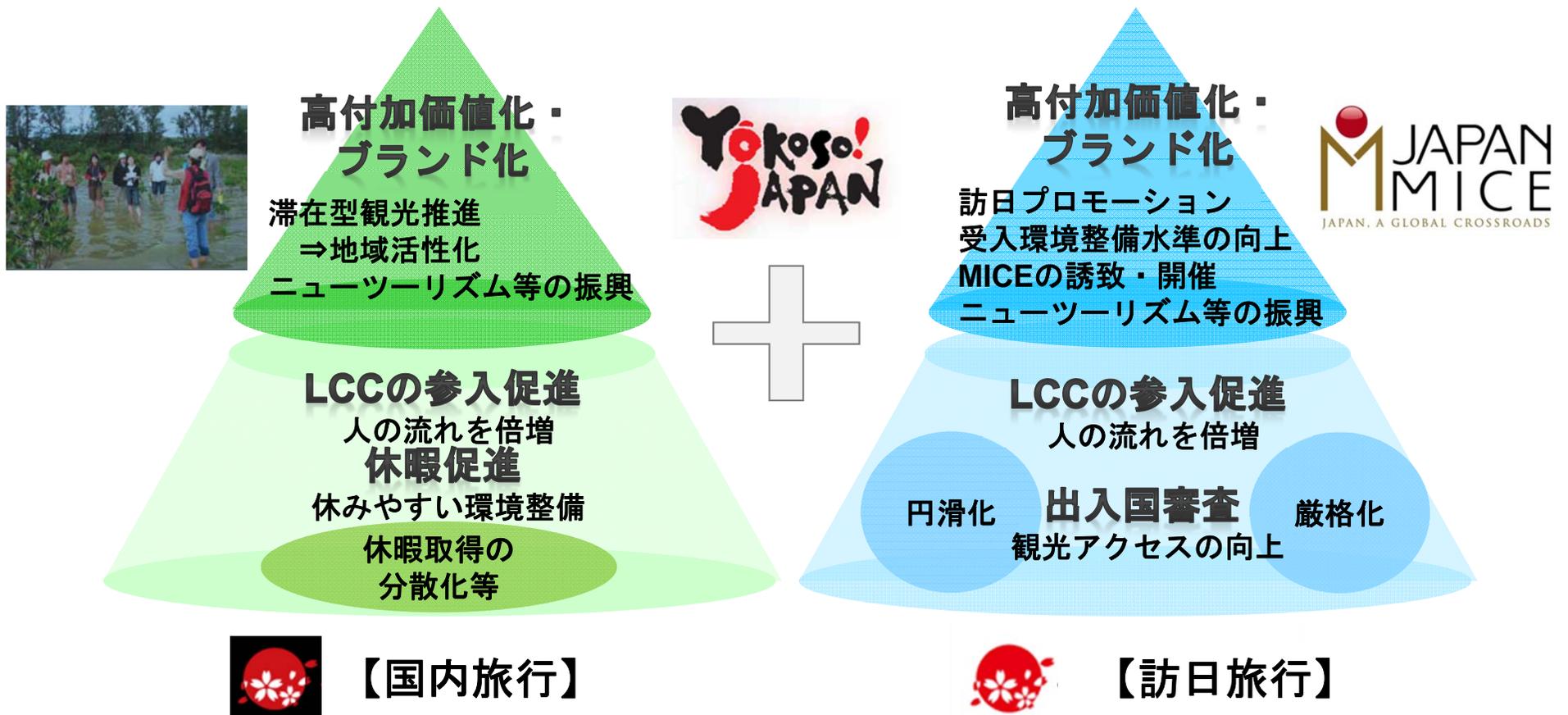
若者が担う強い農林漁業を実現し、魅力と夢のある産業として再生。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

更なる成長力強化のための取組: 観光振興

観光しやすい環境づくりと、高付加価値化、ブランド化等を進め、観光立国の推進により、地域を活性化。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計 分厚い中間層の復活

持続的な経済社会には健全な分厚い中間層が欠かせない。
経済を活性化するとともに、その果実を幅広い人々が享受することにより、
分厚い中間層の復活を目指す。

➔ 新しい社会の働き方、教育、地域社会の支え合いの循環を作り出す。

出番と居場所を作る

雇用を基軸とした社会・生活基盤の構築

- ◇経済を活性化し現在の中間層の自信を取り戻す
- ◇若者、女性、高齢者等の全員参加型社会を実現し、人口減少を跳ね返す
- ◇セーフティーネットを整備しやり直しができる社会をつくる

人材が経済を支える

持続可能で活力のある国土・地域の形成

- ◇コミュニティに支えられた豊かな地域づくりを実現する
- ◇生活空間の魅力を高める

みんなが安心できる地域社会をつくる

我が国経済社会を支える人材の育成

- ◇働くことへの知識を得て理解を深め、社会を生き抜く基礎を身につける
- ◇人材の底上げ・成長分野等の人材と、グローバルに通用する高度人材の両方を育成し、生き方・働き方を選択できる社会を実現する
- ◇企業の採用慣行の改革等を促進し、若者が社会に円滑に羽ばたけるようにする

3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

分厚い中間層の復活:すべての人のための社会・生活基盤の構築

中間層の生活の基盤となる雇用を確保し、全員参加型社会を実現。
分厚い中間層の復活を目指す。

政労使の社会的合意を進め 新しい雇用のあり方を実現

経済社会の変化の
影響を最も受ける
若者へ集中支援

就労促進

全員参加型社会の実現する

- ◇「若者雇用戦略（仮称）」の策定
- ◇女性の活躍の促進（子ども・子育て新システムの実現等）
- ◇65歳までの雇用確保の仕組みづくり
- ◇非正規労働者に関する新たなルールづくり



雇用創出

現在の中間層の自信を取り戻す

- ◇新産業創出による雇用創出
- ◇地域における雇用創出の取組の推進



セーフティーネット

社会参加を促進する

セーフティーネットを整備する

- ◇就学支援の実施
- ◇社会的包摂政策の推進
- ◇「生活支援戦略（仮称）」の策定
- ◇職業教育・職業訓練の強化※



※4（2）②で記載

3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計 分厚い中間層の復活：我が国経済社会を支える人材の育成

＜産学の連携・協力の下、人材育成システムを再設計＞
働くことへの理解を深め、社会を生き抜く基礎をつくる
人材の底上げとグローバルな高度人材の育成・確保の両面から取り組む

企業の人材ニーズと大学等の教育に
ミスマッチ

若者を中心に能力の蓄積が図られず
非正規雇用に固定化

産学官の連携による人材育成システムの再設計

働くことへの知識を得て理解を深める

- ◆ 初等中等教育・高等教育で職業に関する教育を強化・充実（社会を生き抜く力の養成など）
- ◆ 教育と職業の円滑な接続

人材の底上げ

成長分野等の人材育成

- ◆ 産学官が連携した職業教育や職業訓練の強化
- ◆ 実践的な職業能力評価の仕組みの導入



グローバルに通用する 高度人材育成・確保

- ◆ 高等教育機関の国際化
- ◆ 外国人留学生等の受入や若者の留学の促進



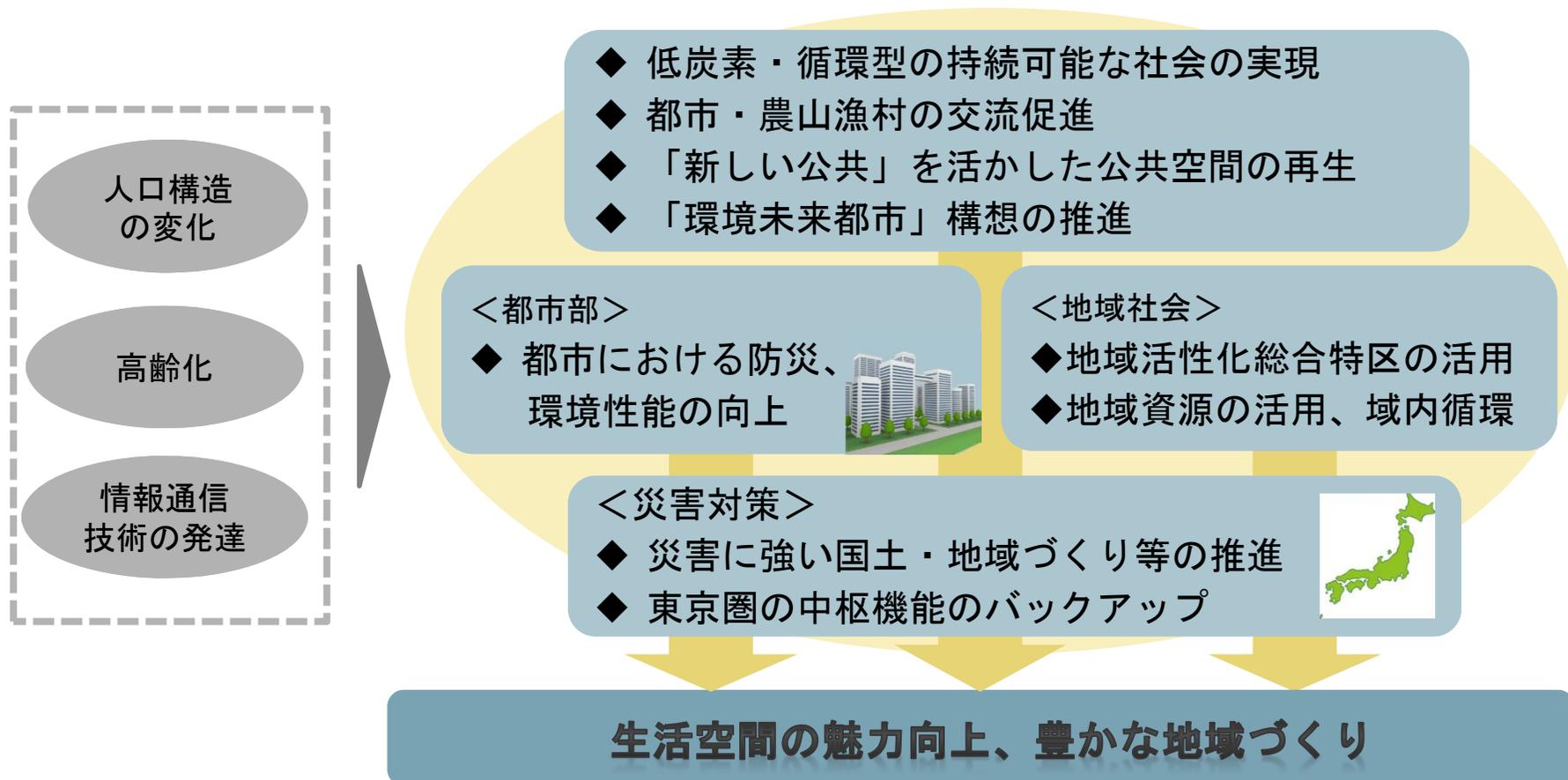
- ◆ 通年採用や卒業後3年以内の新卒扱い
- ◆ ギャップイヤーの普及促進

企業の採用慣行改革の促進

3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計

分厚い中間層の復活：持続可能で活力ある国土・地域の形成

環境や防災等の課題に的確に対応して生活空間の魅力を高める。
コミュニティに支えられた豊かな地域づくりを実現。



3. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計 世界における日本のプレゼンス強化

「内向き志向」からの脱却を図り、国際貢献・国際協力を推進。
世界におけるインクルーシブな成長を通じ、人間の安全保障を実現。
国際機関等の日本人増強、世界の人々が持つ日本のイメージを向上。

- ◆ 強靱なインフラの整備
- ◆ 途上国等の経済を支える人材の育成
- ◆ 基礎教育支援を通じた人材基盤の拡大
- ◆ 保健・医療・衛生改善、防災対策支援
- ◆ 農業・食料分野での支援等

- ◆ 国際機関に勤務する邦人職員の増強
- ◆ 日本食文化の無形文化遺産への登録
- ◆ 日本ブランドの再構築
- ◆ グリーン経済への移行における貢献

◆ ODAの戦略的・効果的な活用

人間の
安全保障の
実現



世界における日本の
プレゼンスの強化



日本の
イメージ・
認識の向上

4. 新たなフロンティアに向けて

「希望と誇りある日本」を築き上げていくため、
中長期的に目指すべき方向性の提示を検討する。

価値観多様化の中で自由に生き方を選択できる社会

グローバル化の
チャンスを活かし、
世界を舞台にする
生き方・働き方

- ◆ 自由貿易の拡大
- ◆ 機能的で効率的な都市
- ◆ 国際競争に打ち勝つ人材

グローバル化と
向き合いながら
地域社会と共に過ごす
生き方・働き方

- ◆ 自律循環型の経済圏
- ◆ 住みやすく暮らしやすい
地域社会
- ◆ 居場所と出番のある社会



社会の仕組みづくり

← 経済、社会等の専門的分析

フロンティア
分科会

中長期的な方向性を検討